

楽しみ盛りだくさんに開催 第37回よっかっぺ祭り

今年で37回目を数えるよっかっぺ祭りが10月18日、本町通り商店街を中心に開催され、秋晴れのもと多くの人でにぎわいました。

市民手作り、市民参加のイベントとして親しまれるこの祭り。元気いっぱいの市内小学生によるたるみこし&囃子パレードを皮切りに、児童の遊戯や踊り、歌、ステージショーなどを実施。通りには展示や軽食・物品販売、健康診断などバラエティに富んだテントが立ち並び、内容盛りだくさんのイベントに大きな盛り上がりを見せました。



野田小学校を先頭に
出発したみこしパレード



切れのあるヒップホップダンス(上)と
しっとり魅せる歌と踊りの競演



よさこい踊りチーム総参加で
迎えたフィナーレ



▲軽食屋台が並んだフードコート
▼本格的な迷路も登場



かわいらしい児童の発表(上・榎海保育園、中・八日市場保育所、下・東保育園)



一日警察官 元気よく宣言 秋の交通安全フェスタ

「秋の全国交通安全運動」期間初日の9月21日、「秋の交通安全フェスタ」がふれあいパーク八日市場で行われ、千葉県警察音楽隊によるコンサートや子ども向けクイズといったイベントに、家族連れなど多くの人を訪れました。



交通安全宣言をした
大極くん(左)と菅谷さん

関係団体による出動式では、豊和小6年の大極文也くんと菅谷和奏さんが、一日警察署長と一日交通課長にそれぞれ任命され、「交通事故はとても恐ろしいこと。ルールを守って交通安全に取り組みます」と元気に宣言しました。

声援受けて競技に全力 野栄シニア連 体育祭

野栄シニアクラブ連合会による体育祭が10月15日、のさかアリーナで開催されました。



大玉転がしで全力疾走

この行事は、会員の健康の増進を目的に毎年開催され、今年で10回目。22クラブからおよそ160人が参加し、観客席からの声援を受け、買い物競争や大玉転がしなど、個人・団体の計7競技で汗を流しました。

地域の伝統行事

市内各地で行われた、秋の伝統行事を紹介します。

六社神社御神幸祭



御浜下りの様子

野田地区野手の六社神社で10月11日、御神幸祭が行われました。早朝に神社を出発した神輿行列は、一日かけて地区内を渡御。のさか望洋荘前の海岸では、神輿を担いだまま海に入る「御浜下り」も行われました。

十二所神社御神幸祭

栄地区川辺の十二所神社で10月11日、御神幸祭が行われました。神社を出た神輿は、1年間の五穀豊穰、豊漁、商売繁盛を祈願し、軽快なお囃子に合わせて地区内を威勢よく渡御しました。



神社を出発する神輿

松山神社 秋の大祭



腰を下ろし神輿の通過を待つ人たち

匠瑳地区松山の松山神社で10月11日、五穀豊穰を祝う秋の大祭が行われ、神輿行列が地区内を渡御しました。この神社の神輿は、その下をくると御利益があると伝えられていて、神輿の出発を待つおよそ20人が、境内の鳥居前に腰を下ろして列を作る姿が見られました。

水神社祭礼

椿海地区春海の水神社では10月17、18の両日、秋の祭礼が行われました。17日夜に神社から当番町の沖区に移された御神体は、18日昼に祭り最大の見せ場である還御の時を迎えます。猿田彦や侍、巫女衣装の子どもたちを先頭に、仮宮を出発した神社神輿は、椿海小の児童たちが担ぐ子ども神輿と一緒に、地区内を渡御しました。



巫女舞を披露する児童

大人顔負けに真剣質問

中学生模擬議会

中学生が市議会運営を体験する匠瑳市中学生模擬議会が、10月14日に開催されました。

「地方政治と自治」を体験学習により学び、市議会の役割について認識を深めることを目的とするもので、市内3校の3年生から、議員役に26人、傍聴者役に27人が参加し、このうち9人が登壇。市の活性化に向けた観光振興策や税金の使い道、交通安全のための環境整備など、自身の意見や要望について堂々としたふるまいで質問を行うと、執行部からの説明に対して真剣なまなざしで学んでいました。



一番目に登壇し質問する羽斗柵さん(野栄中)。後ろは議長役の石田敏平さん(八日市場第一中)。

伝統芸能に感激

第20回飯高檀林コンサート



眼前で繰り広げられる迫力の演目(写真は能「土蜘蛛」)

第20回飯高檀林コンサートが飯高寺講堂で、10月11日に行われました。市制施行10周年記念としての開催となった今回は、これまでのアンケートで要望が多かったという「能」「狂言」の上演となりました。

講堂内に用意された当初の観客席だけでは足りず、境内へも席を設けるほどの盛況ぶり。上演後、観客からは「初めに解説があったので分かりやすかった」「感激した」という声が聞かれました。

若い力でイベントを盛り上げ

ボランティアフェスタ

市民ふれあいセンターで9月20日、本市で活動するボランティア団体によるイベント「ボランティアフェスタ2015」が開催されました。5回目を迎えた今回は、初めて八日市場第二中学校と匠瑳高等学校の生徒が参加し、各団体ブースをお手伝い。参加した約20人の生徒は、市ボランティア連絡協議会・加瀬会長から「若さを原動力に市のボランティアを元気づけていきましょう」と激励を受け、各ブースの内容を来場者に対して熱心に説明していました。



来場者に熱心に説明する生徒